

社会資本総合整備計画

〔鹿児島市における機能性の高いまちづくり(第2期)〕

事後評価シート(原案)

令和4年11月

(鹿児島県 鹿児島市)

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	鹿児島市における機能性の高いまちづくり（第2期）		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度（5年間）	交付対象	鹿児島市
計画の目標			

土地区画整理事業などを実施し良好な市街地環境の形成を行い、個性と魅力あるまちづくりを推進する。

計画の成果目標（定量的指標）	本市の平成33年度における将来推計人口は平成24年度に比べ、約11,000人減少する（約2%減）ことが予想されているが（第5次総合計画より）、今計画で個性と魅力あるまちづくりを推進することで、本事業実施区域内（周辺地区を含む）の居住人口を42,051人（H29）から42,000人（R4）に維持することを目標とする。		
----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	都市再生整備計画の区域内（周辺地区を含む）居住人口を調査する。			定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H29)	中間目標値 (R2)	最終目標値 (R4)	42,051人	-	42,000人	

全体事業費	合計 (A + B + C)	646 百万円	A	644 百万円	B	0 百万円	C	2 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	0.3 %
-------	-------------------	---------	---	---------	---	-------	---	-------	-------------------------------	-------

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 ・鹿児島市公共事業評価検討委員会（内部）での審議 ・鹿児島市事業評価監視委員会（外部）での審議	事後評価の実施時期 ・令和4年11月 公表の方法 ・ホームページへの掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H30	R1	R2	R3	R4		
A-1	都市再生	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	吉野地区都市再生整備計画事業	区画整理 A=114.1ha	鹿児島市						644	
合計													644		

B 関連社会資本整備事業（該当なし）																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業主体	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H30	R1	R2	R3	R4		
合計													0			

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H30	R1	R2	R3	R4		
C-1	施設整備	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	緑道整備事業	緑道の整備	鹿児島市						2	
合計													2		

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
C-1	吉野地区都市再生整備計画事業（A-1）とあわせて施設整備することにより都市機能の充実を図る。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		土地区画整理事業の推進により、良好な市街地環境が形成され、居住人口の増加につながった。			
定量的指標の 達成状況	指標 都市再生整備計画の区域内 (周辺地区を含む) 居住人口	最終目標値	42,000人	目標値と実績値に差が 出た要因	土地区画整理事業などの推進により、地域住民が安心・安全に暮らせる良好な居住環境が形成されたことや、商業施設等の立地が進み市民生活の利便性が向上したことで、定住意識の向上が図られ、居住人口が増加したと考えられる。
		実績値	43,688人 (R4.9.1現在)		
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業の推進により、車が容易に離合できる道路幅員が確保され、良好な交通環境が形成されるとともに、住宅が建ち並び、まちの活性化が図られた。 ・緑道整備により、歩行者空間を視覚的に分かりやすくしたことで、車両の進入が抑制され、歩行者の交通安全が確保されるとともに、都市景観の向上が図られた。 			

3. 特記事項(今後の方針等)

今後も引き続き、土地区画整理事業を推進し良好な市街地環境の形成を行い、個性と魅力あるまちづくりの推進を図る。